

# 基礎輪講に向けて

杉本研究室

森田 潤

斎藤英雄研究室

中山 祐介

# 項目

- 研究室年間スケジュール
- 基礎輪講について
- 基礎輪講を通して学んでほしいこと
- 基礎輪講の流れ

## 参考

- 発表用スライド作成について
- プログラミングについて

# B4(杉本研) 年間スケジュールの例

2-3月：基礎輪講

4月：日本語輪講(追実装)

5月：第1回英語輪講, **IVRC企画書**

6月：大学院入試, **IVRC2次**

7月：第2回英語輪講, 本番輪講

8月：大学院8月入試

9月：夏合宿(学年別発表), **IVRC決勝進出**

10月：ISMAR(オーストラリア), **IVRC優勝**

12月：中間発表

1月：卒論提出, 卒業研究発表

# B4(斎藤研) 年間スケジュールの例

2-3月：基礎輪講

4月：日本語輪講(追実装)

5月：第1回英語輪講

6月：第2回英語輪講, 大学院6月入試

7月：本番輪講

8月：大学院8月入試

9月：夏合宿(学年別発表)

10月：ISMAR(オーストラリア)

1月：卒論提出, 卒業研究発表

グループミーティング  
(進捗報告会)

春:3週に一度  
秋:2週に一度

# 基礎輪講について

- 研究を始める前の研修期間

日程(コアタイム:10時～17時)

第1週:2月10日～14日

第2週:2月17日, 21日, 22日

第3週:2月24日～28日

第4週:3月17日～21日

※遅刻・欠席の場合は

[b4@hvrl.ics.keio.ac.jp](mailto:b4@hvrl.ics.keio.ac.jp)

まで連絡をお願いします.

# 基礎輪講で学んでほしいこと

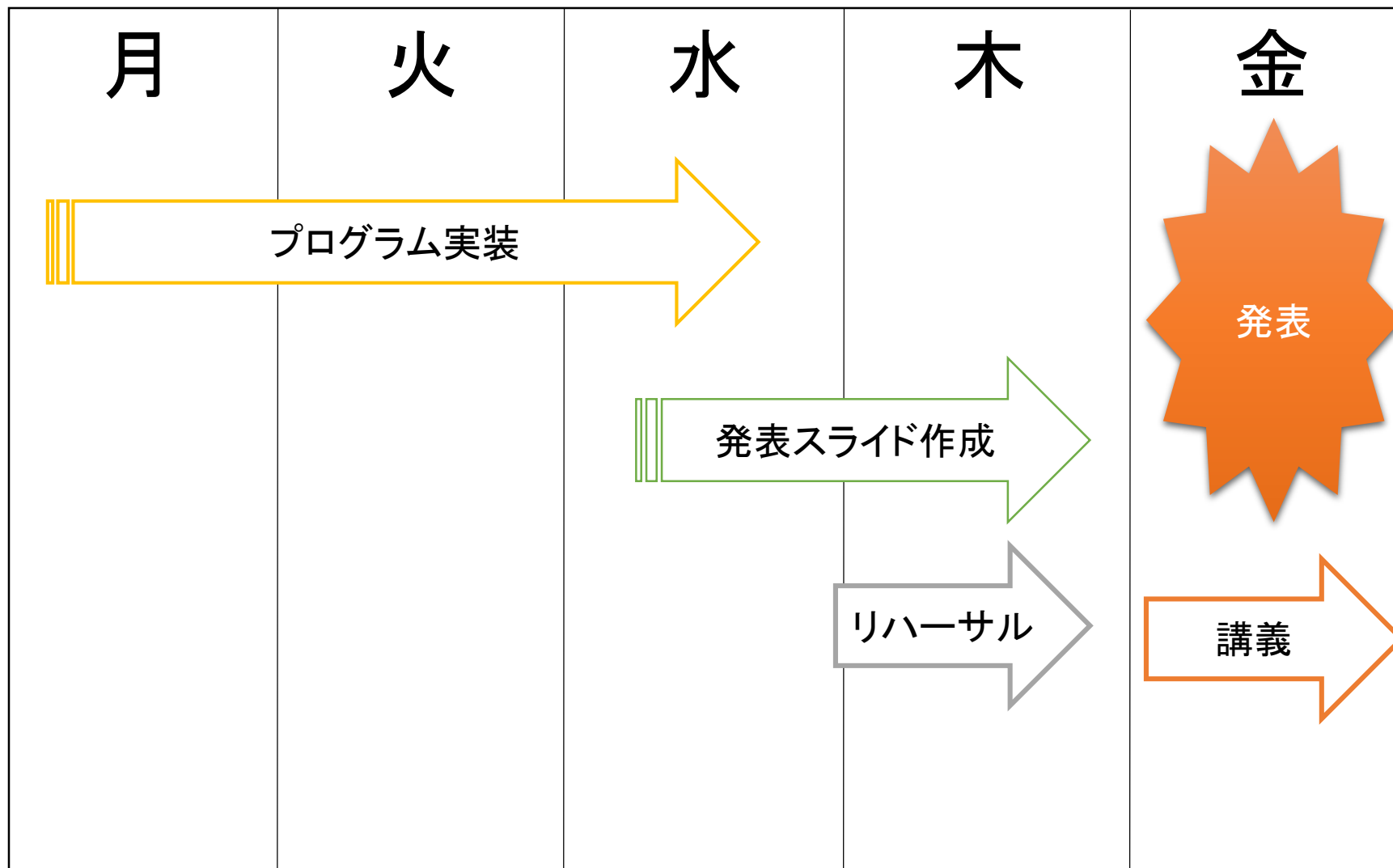
- 実装

- まずはプログラミングに慣れる！
- 分からない処理の調べ方

- プレゼン

- 分かりやすいスライドの作り方
- 相手に伝わる発表の仕方

# 基礎輪講の流れ



# 講義

- 新M1の先輩による講義
- 各週に扱う処理についての簡単なレクチャー





# プログラム実装

- Visual Studio で実装
- 使用言語は基本的にC++
- ライブラリの使い方を習おう



# パワーポイントの作成

# 発表スライド作成

- PowerPointで作成
- 1週間自分が学習した内容を発表
- チェック&修正を繰り返し良いスライドへ...
- **一番時間がかかる.**

# リハーサル&発表

- 発表時間は1人10分
- 発表練を繰り返し、発表内容、スライドを修正
- 発表後、先輩からの質問タイム



# 基本的な発表の流れ

1. 背景
2. 目的
3. 手法
4. 実験
5. 考察
6. まとめ

基礎輪講では必ずしもこの流れで行う必要はありませんが  
発表全体の流れを意識してつくりましょう！

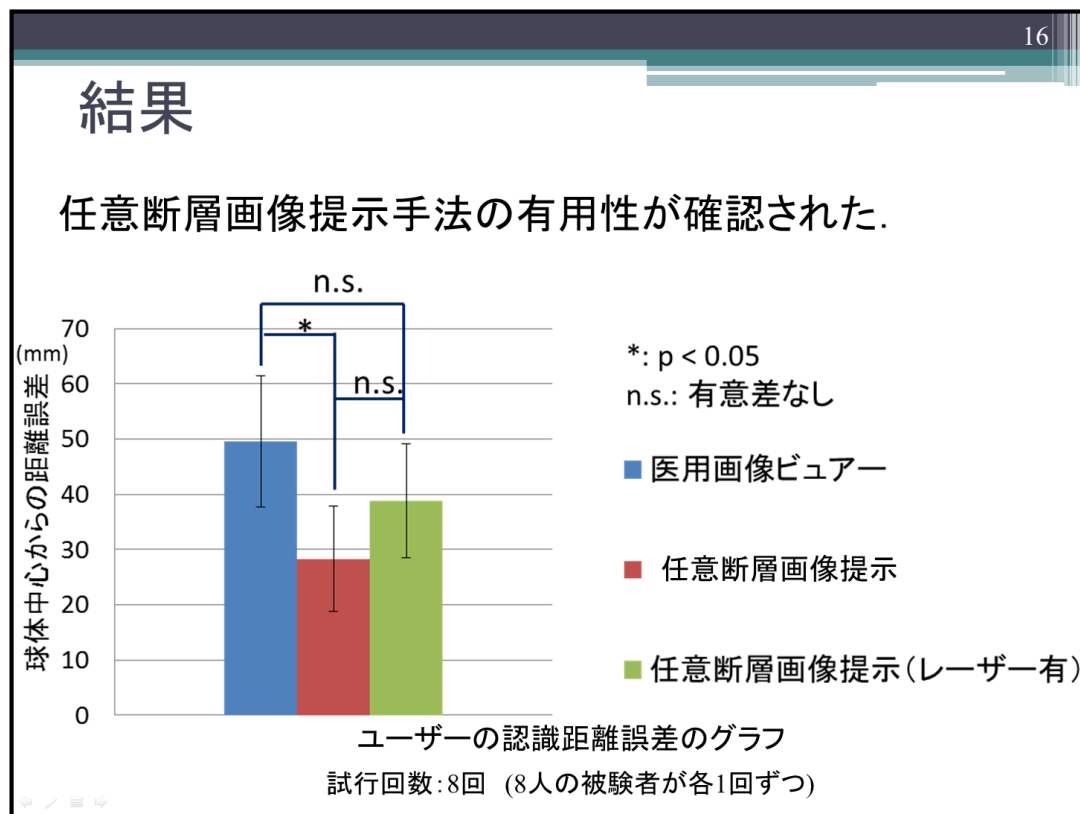
※基礎輪講では背景，目的は含まなくてよい。

近年3次元物体が  
関心を持たれてる...

手軽に3次元物体  
作るよ！！

# 1ページの分量

- 30秒から1分程度話せる分量
- 10分の発表なら15~20枚程度



# 文字量

1枚のスライドに文字を詰め過ぎると読みづらくなります。  
また発表時にスライドを読んでいるだけ、といって怒られたりもします。

スライドには最低限の情報を記入し、口頭で話せることは口頭で伝えるようにします。文章は1枚のスライドに

**2行~3行以内**に収めましょう。

このスライドのように文字だらけになってしまうと発表を聞いている人も読む気をなくします。

題名！一文！図！（このスライドで言いたかったこと！）とスマートにまとめましょう。最初は先輩のパワポなどを見て参考にしてみてください。

# 良いスライド作りのために・・・

- 1スライドでの主張は1つ.
  - 言いたいことが2つある場合は2スライドに分けましょう
- 文字だけは× 図やグラフなどを入れて分かりやすく！
- なるべく数式はのせない.
  - のせる場合はきちんと説明すること.
- 小学生相手に話すつもりで**分かりやすさ第一**
  - 難しい単語は噛み砕いてのせる.



# 句読点

- 一文の終わりには句読点をつけましょう。
- 体言止めの場合は句読点は不要。
- 一文が長くなって改行を間に挟むときは  
読点も不要です。

# 文字サイズ

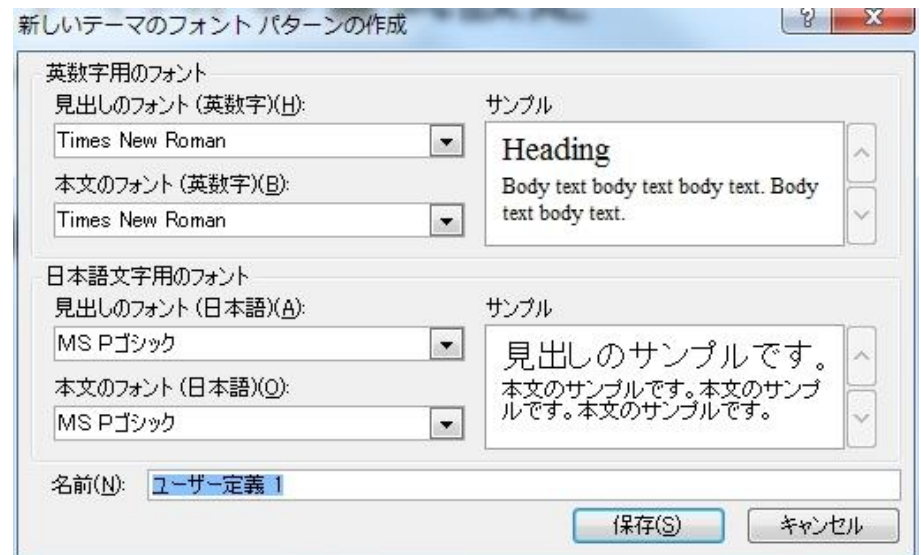
- 本文の文字サイズは24~28が基本
- 小さくて読めないと怒られます。
- 図のキャプションなどは18位で大丈夫



見つめる雪だるま

# フォント

- 日本語 :”MS Pゴシック”
- 数式・英語 : “Times New Roman”
- 表示→スライドマスター→フォント  
→新しいテーマのフォントパターンの作成  
から設定できます.



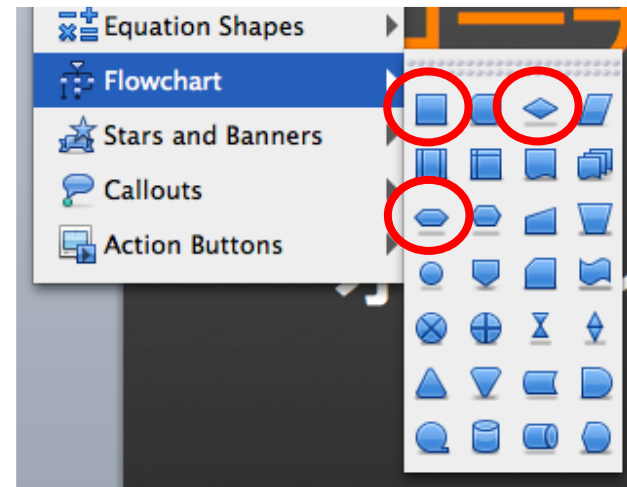
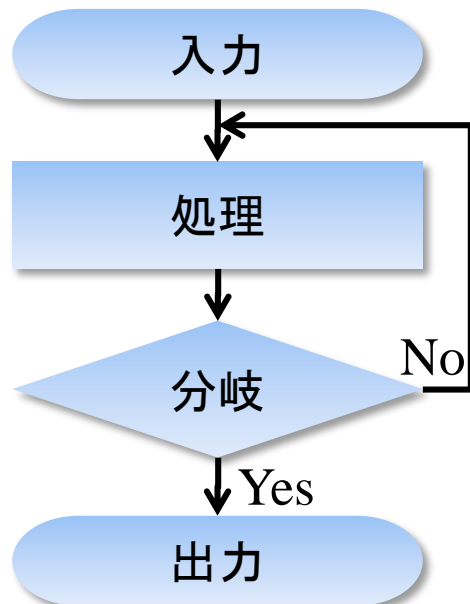
# ヘッダーとフッター

スライド番号をタイトル以外に表示



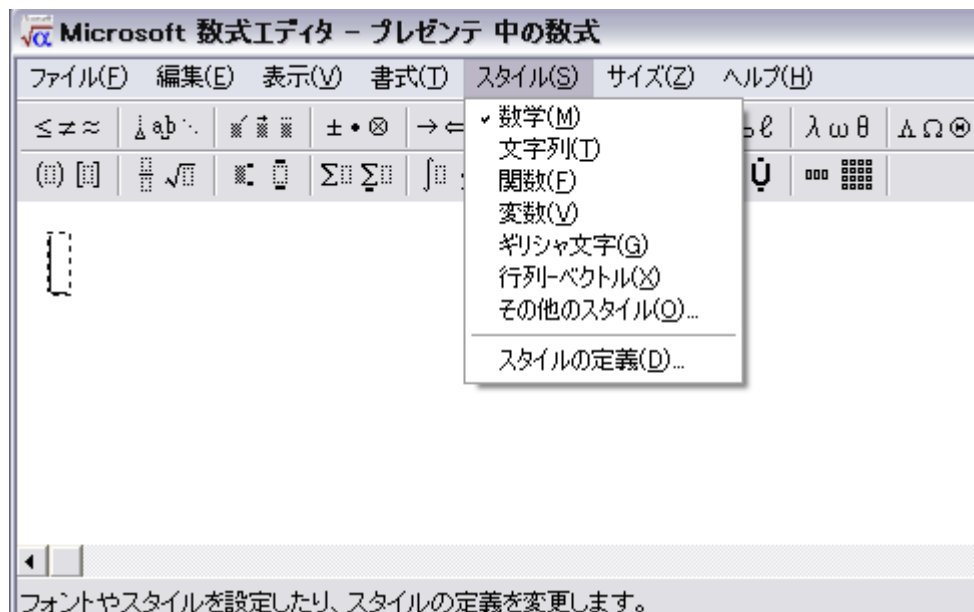
# フローチャート

- オートシェイプのフローチャートを利用
- 上から下へ



# 数式

- 複雑な数式はあまり用いない.
- 変数の説明を忘れない.

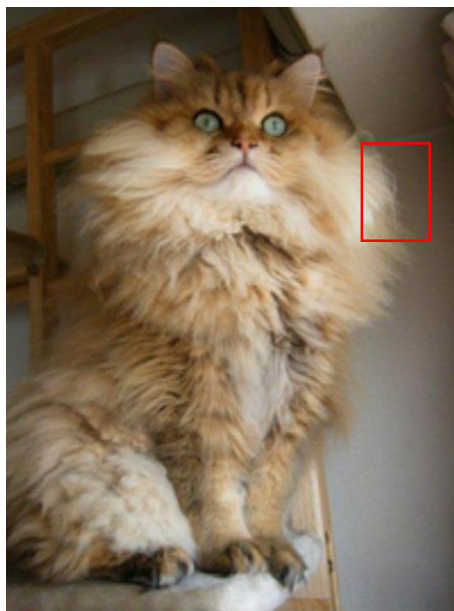


# 画像の貼り方

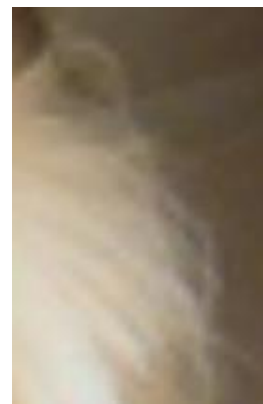
- 図は大きいほうが見やすい.
- 処理効果がわかりやすいように, 拡大・トリミング



入力画像



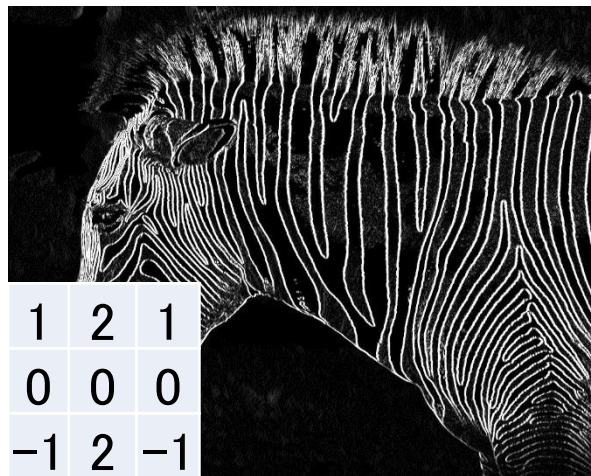
出力画像(2倍)



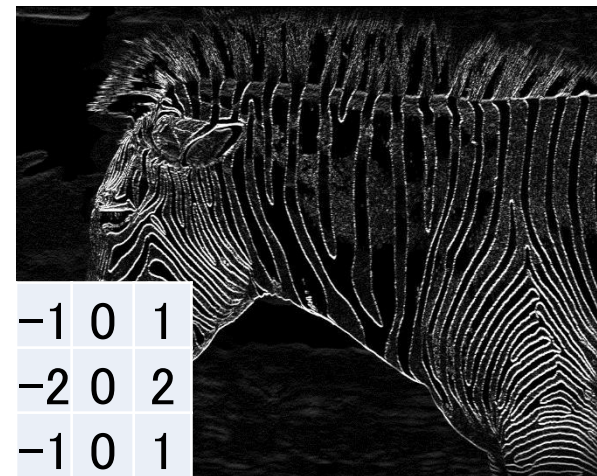
# 画像選び-(悪い例)



原画像



ソーベルフィルタ(縦)



ソーベルフィルタ(横)

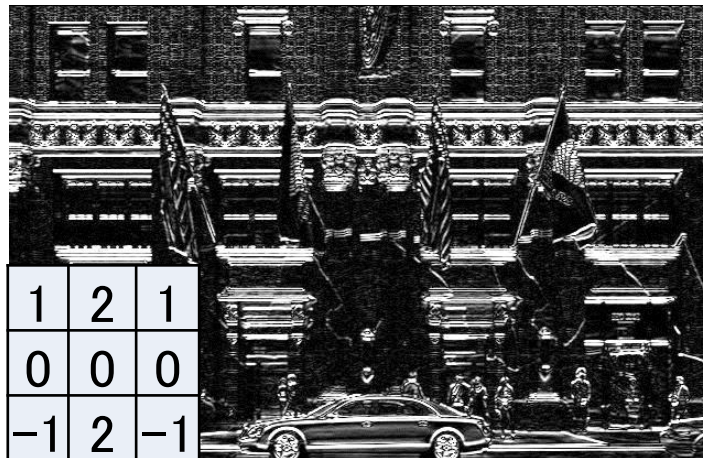
・ソーベルフィルタの特徴が見えない。 → よくわからない。



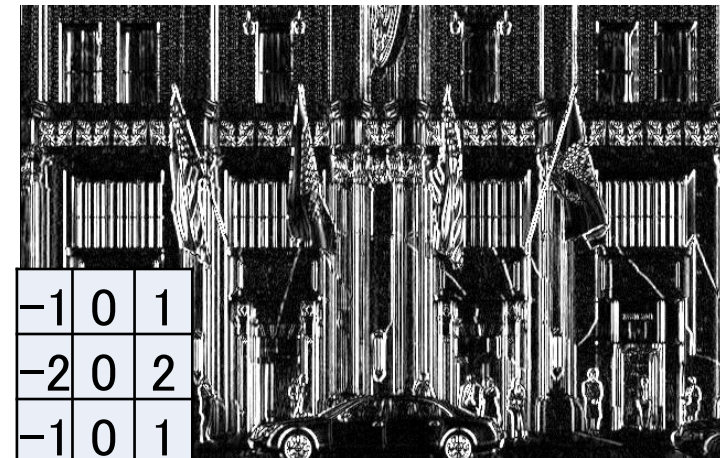
# 画像選び-(良い例)



原画像



ソーベルフィルタ(縦)



ソーベルフィルタ(横)

- ・ソーベルフィルタの特徴がはっきり分かる.

# 結果の評価

- NG : 美しくなった, 良くなった, 早くなった etc
- 画像で示す, 処理時間が○秒から○になった等基準をはっきりと！

# 補足：発表のルール

発表時間は10分間

開始時に1鈴, 8分経過で1鈴, 10分で2鈴ベル

±30秒以内が理想です.

前述の発表フォーマットはあくまで基本なので  
聴衆の分かりやすい工夫を凝らしましょう.

# 補足：発表で説明してほしいこと

- その画像処理がどのような処理なのか？
- 主にどのような用途で用いられるのか？
- 実装において自分がどのような工夫を凝らしたか？
- どのような画像を用いて画像処理を行ったか？
- 処理の結果、どのような効果が得られたのか？
- 得られた結果が妥当であるか？
- 複数の画像を用いての効果の比較

※文章だけでなく、図や口頭で工夫して説明してみてください。

# その他，細かいところ

- 箇条書きにするのは項目が2つ以上のとき
- 改行はきりのいいところで
- 数式のフォントは*Times New Roman*の斜体
- 発表を通じて言葉の統一をとる  
ex: “ピクセル”と”画素”